

日頃のご愛顧に感謝

御厨支部親善グラウンドゴルフ大会

松浦商工会議所御厨支部（西村直志支部長）が主催するグラウンドゴルフ大会が12月4日、御厨地域運動場で行われました。

この大会は、御厨地域の商工業を応援してくれる地域住民の皆さんに感謝し、参加者相互の親睦と健康増進を図ることを目的に毎年開催されています。

この日は、御厨・星鹿地域から106人が参加し、冷たい北風にも負けず、参加者たちは元気にグラウンド・ゴルフを楽しんでいました。上位の結果は次の通りです（敬称略）。

- 【優勝】 吉永和人（コスモス）
- 【準優勝】 福田 勉（板橋）
- 【3位】 松本 厚（郭公尾）
- 【4位】 山中 進（小船）
- 【5位】 田中ミツ（郭公尾）



人権を考える

第13回ながさき人権フェスティバル

第13回ながさき人権フェスティバルが12月9日、文化会館で開催されました。

この日は、人権啓発パネル展や人権紙芝居のほかにも長崎福祉の店ふれあいショップから障害者施設で作られたお菓子や手芸品の販売がありました。

また、ステージでは女優の石井めぐみさんを講師に招き、「やさしい街やさしい人」と題して講演会が開催されました。石井さんは重度障害児として生まれた長男優斗君との生活やその中で学んだことなどを語り、身振り手振りを交えた心のこもった講演に、参加者は熱心に聞き入っていました。



豊作を祈願して

白浜神社大祭

白浜神社の秋の大祭が12月2日、同神社で行われ、今年の豊作を感謝し来年の豊作を祈願する「的打ち」と「稲舞」が奉納されました。

的に当たった矢の数で来年の豊凶を占う「的打ち」では、中川明宏宮司が神殿の天井2隅に取り付けられたワラで作られた直径約50cmの的めがけて3本ずつ矢を放ち、全て命中させました。

また「稲舞」では、今年収穫した稲穂の束を深見純矢君（9歳）が担いで、中川宮司と一緒に舞を奉納し、その稲を集まった氏子などに配り来年の豊作を祈願しました。



地域の人々と楽しく運動！

御厨地区青少年健全育成会議

御厨地区青少年健全育成会議が主催する三世代交流グラウンドゴルフ大会が12月2日、御厨小学校運動場で開催されました。

この行事は三世代の交流を通じて地区住民の親睦を深めようと毎年開催されています。

この日は、子どもからお年寄りまで約150人が参加し、和気あいあいと楽しい時間を過ごしました。



すべてが手作りの『見るための着物』

11月17日～19日までの3日間、きらきら21で「ミニ着物展」が開催されました。



Interview 田中 ひさこ 久子さん (今福・滑栄、77歳)

その作品一つ一つを、訪れた誰もが関心して見入ってしまいます。色とりどりのミニ着物やおそろいの布地で作られた草履・鞠まりや、おひなさま、お地蔵様。その全ての作品は田中久子さんによって作られました。田中さんに作品制作にかける思いなど、いくつかお話を聞いてみました。



Q 和裁を始めたのはいつですか？

A 子どものころから縫うことが好きでしたが20代前半に習いに行き、和裁を覚えました。洋裁やパッチワークもしますが、和裁が一番向いている気がします。

Q 着物の良さとは？

A 着物は日本の伝統です。シワにもならないし、とても便利。ただ、洋服と違って動きにくい。だからこそ、昔の人は歩き方や座り方など行儀が良かったのかもしみませんね。

Q 作品を制作する上で気をつけていることは？

A 色・柄合わせが特に気を使いま



す。理想の色の布地がないときは、自分で布を染めて作る時もあります。

また、小さいからこそ縫いにくい箇所もあり、考えて工夫することが好きです。発想を変えることは大切です。

Q 和裁の楽しみとは？

A 作品に完璧はなく、いつも試行錯誤です。上手にできたら嬉しくて、飽きることがありません。また機会があれば、展示会をできればいいと思います。

窓から海を見ながらラジオを聴いて、好きな和裁をできる毎日とても幸せに思います。